

「黄金町地区における地区再生まちづくり」視察を実施

ーアートによる空間再生、行政・住民・NPO の連携スキームを学ぶー

2026年3月26日
一般社団法人渋谷再開発協会

一般社団法人渋谷再開発協会(以下、渋谷再開発協会)は、1964年の設立以来、地元(商店会・町会)、渋谷区、事業者(渋谷のまちづくりに関わる企業や団体)が三位一体となり、渋谷駅周辺地域の将来のまちづくりを検討しています。

この度、当協会の活動の一環として、「黄金町地区における地区再生まちづくり」に関する視察を実施しましたので報告します。本視察は、他地区の先進的なまちづくり事例を学習し、意見交換を行う場として設定したものです。

当日は、神奈川大学の上野准教授(元NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター職員)を講師に迎え、かつての違法風俗地帯が、行政・住民・NPOの強固な連携によっていかにクリエイティブな拠点へと変貌を遂げたか、そのプロセスを実地で学びました。今後も、渋谷の将来のまちづくりに関連する最新情報や、持続可能な都市再生のヒントとなる活動情報の収集を積極的に進めてまいります。

~~~~~  
<開催日時> 2026年3月10日(火)

<視察内容>

1. 黄金町地区における地区再生まちづくり  
神奈川大学建築学部建築学科 上野准教授
2. 現地視察
3. 交流会



~~~~~  
【参考】一般社団法人渋谷再開発協会 概要

1964年に前進の「渋谷再開発促進協議会」が設立され、1972年に現在の名称へ変更、2021年に一般社団法人化。渋谷駅周辺地域の将来像(ビジョン)を描き、長期的視点による都市再生の促進やまちに訪れる人々の活動のための場づくりを通して、職・住・遊における高い暮らしの質を実現し、サステイナブルな歩いて楽しいまちづくりを推進。現在、119団体・企業が加盟し活動。

以上